

4 環境教育の充実

(1) 小学校における環境教育の推進

今年度、国立教育政策研究所教育課程研究センターが「環境教育指導資料 [幼稚園・小学校編]」を作成し、各小学校に配付されています。小学校における環境教育は、子どもが自分自身の周囲の様々な環境と関わりをもったり、具体的な体験をしたりするところから始まり、感動したり驚いたりしながら疑問をもち、考えを深めていくための基礎を培うものです。

下記は、「環境教育指導資料 [幼稚園・小学校編]」を簡単に整理したものです。ぜひ、本資料を校内研修等で活用していただきたいと思います。

【小学校における環境教育のねらい】

- ① 環境に対する豊かな感受性の育成
自分自身を取り巻くすべての環境に関する事物・現象に対して、興味・関心をもち、意欲的に関わり、環境に対する豊かな感受性をもつことができる。
- ② 環境に関する見方や考え方の育成
身近な環境や様々な自然、社会の事物・現象の中から自ら問題を見付けて解決していく問題解決の能力と、その過程を通して獲得することができる知識や技能を身に付けることによって、環境に関する見方や考え方を育むようにする。
- ③ 環境に働き掛ける実践力の育成
持続可能な社会の構築に向けて、自ら責任ある行動を取り、協力して問題を解決していく実践力を培うようにする。

■ 【身に付けさせたい能力や態度 (例)】

- 環境を感受する能力
- 環境に興味・関心をもち、自ら関わろうとする態度
- 問題を捉え、その解決の構想を立てる能力
- データや事実、調査結果を整理し、解釈する能力
- 情報を活用する能力
- 批判的に考え、改善する能力
- 合意を形成しようとする態度
- 公正に判断しようとする態度
- 自ら進んで環境の保護・保全に寄与しようとする態度

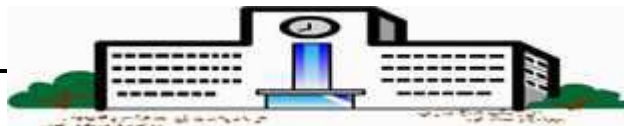


関連付け

各教科
道徳
特別活動
総合的な学習の
時間

【環境を捉える視点 (例)】

- ・資源の循環
- ・自然や生命の尊重
- ・生態系の保全
- ・異文化の理解
- ・共生社会の実現
- ・資源の有限性
- ・エネルギーの利用
- ・生活様式の見直し



(2) 「学校版環境ISO」の一層の充実

今年度も管内すべての小・中学校が「学校版環境ISOコンクール」に参加され、それぞれの学校の実態等に応じて、よりよい工夫を施した取組がなされました。

「学校版環境ISO」の取組には、5つのポイントがあります。自校の取組が下記のポイントに沿ったものになっているかどうか、確認してみましょう。

【POINT I】

《宣言項目が設定してあるか》

- ①実態把握をしているか。
- ②具体的な数値目標を設定しているか。
- ③児童生徒の主体的な取組により、宣言項目を設けているか。



【POINT II】

《宣言項目に従って、特色ある取組をしているか》

- ①行動計画を作成し、児童生徒・教師が一体となって行動しているか。
- ②外部組織等との連携を行っているか。
- ③家庭・地域への発信を図っているか。

【POINT III】

《行動の記録があるか》

- ①行動計画書に従って行動しているかどうか、適切に記録しているか。
- ②児童生徒、教職員の取組や数値目標に関する継続的な点検・記録をしているか。
- ③記録の方法、内容、頻度などを工夫しているか。

【POINT IV】

《見直しをしたか》

- ①見直しの時期、頻度、方法等を工夫したか。
- ②活動の結果を踏まえた今後の指針・方策を立てたか。

【POINT V】

《その他》

- ①目標達成したか。
- ②活動によって、学校環境や児童生徒の態度、家庭・地域に変容が見られたか。

今年度、上益城管内では、上記のポイントを押さえて取り組まれた、御船町立滝尾小学校（「PTAや地域住民と藍染でリサイクル活動」等の取組）と山都町立清和中学校（「花は咲くプロジェクト」等の取組）が優秀賞を受賞しました。

また、益城町立広安西小学校が、第15回環境美化教育優良校表彰 最優秀校として、環境大臣賞を受賞しました。次頁に、その取組を掲載します。

限りある資源・「必要な分だけ」の気持ちで！！～エコで生活くふうを！～広西エコリンピック2014～

日常生活をエコで工夫できるような活動を目指します！

昨年度は、日々の生活の中に環境活動があることに意識して過ごすこと、「水や電気の節約」、「ごみや廃し物を減らす」の校内宣言文を基本とし、「広西エコチャレンジ2013」で自分ができる環境活動にチャレンジした。全校がそれぞれに日常生活自体、環境活動の足と実感があつた。そこで今年度は、全校一人ひとりの日常生活の中で環境活動が、「どこでどのようにならなければならないか」を考えたことを重要課題として取り組んでいる。日々、一人ひとりの生活の中で変化が見える環境活動を目指している。



広安西小学校学校版環境ISO実現に向けて

昨年度までの環境教育全体計画や年間指導計画、組織図をもとに、今年度はさらに日常生活をエコで工夫できるようにするため、付け加えたり重点化した。また、



【広西エコリンピック2014 行動計画】



広安西小学校学校版環境ISO宣言文

- 1 水や電気の節約にとめます
- 2 落とし物やごみを減らし、資源を大切にします

紙や電気の3Sに心がけます
(3S・・・せいろ・せいとん・せつやく)

資源にむけて・・・

- ① 電気代を前年比10万円少なくする
- ② 水運代を前年比10万円少なくする
- ③ ごみの量は毎日7kgを超えないようにする

今年度の全校宣言文については、これまでに宣言し続けてきた水・電気の節約に加え、限りある資源を大切にすることと同時に、資源を大切にすることは命を大切にすることという視点からも考え、ものやものを扱う人も大切にすることを目標として宣言文を作成した。

数値目標では、これまでの電気代、水道代およびごみの量のグラフを参考に、また全校の環境委員も考慮して決めた。



エコリンピック2014～エコリンピック6～

【水・電気節約アクション（全校宣言文より）】
水の節約では、掃除時間の減り減り時に水をばけつのため、水を必要以外には使わないようにしている。電気の節約では、掃除時間や昼休みに必要以外の電気を消すようにしている。また、睡れている時は室内も暗いので、各教室や廊下の状態に合わせて蛍光灯を消している。



【資源大切アクション（全校宣言文より）】
落とし物を減らす取組として、環境委員会が校内に落ちていた廃し物をまとめ、各クラスに持って行き、自分の持ち物であるかどうかを確認してもらっている。また、ごみを減らす取組では、広西4R（リデュース、リユース、リサイクル、リファイン）として、再利用したり、分別にゆだねたりするなど、ごみができるだけ出さず、きちんと整理できるようにしている。

【クラスアクション】
全体の宣言文の他に、クラスの宣言文も決めている。全校の宣言文をもっと詳しくした宣言文を作成したり、また、クラスの集りに合わせて作成したりしている。

エコリンピック2014 ② 委員会を取り組もう

【委員会活動推進ISOアクション】
委員15の委員会は、学校生活を色んな立場から支えており、どの委員会も必ず環境活動が入っている。

環境委員会	環境・廃し物の減らし方について ごみ・資源の大切さを伝える	環境・廃し物の減らし方について ごみ・資源の大切さを伝える	環境・廃し物の減らし方について ごみ・資源の大切さを伝える
図書委員会	図書・読書の推進について 読書の楽しさを伝える	図書・読書の推進について 読書の楽しさを伝える	図書・読書の推進について 読書の楽しさを伝える
運動委員会	運動・体育の推進について 運動の楽しさを伝える	運動・体育の推進について 運動の楽しさを伝える	運動・体育の推進について 運動の楽しさを伝える
音楽委員会	音楽・楽器の推進について 音楽の楽しさを伝える	音楽・楽器の推進について 音楽の楽しさを伝える	音楽・楽器の推進について 音楽の楽しさを伝える
文化委員会	文化・芸術の推進について 文化の楽しさを伝える	文化・芸術の推進について 文化の楽しさを伝える	文化・芸術の推進について 文化の楽しさを伝える
保健委員会	保健・衛生の推進について 健康の大切さを伝える	保健・衛生の推進について 健康の大切さを伝える	保健・衛生の推進について 健康の大切さを伝える
生活委員会	生活・習慣の推進について 生活の大切さを伝える	生活・習慣の推進について 生活の大切さを伝える	生活・習慣の推進について 生活の大切さを伝える
ボランティア委員会	ボランティア活動の推進について ボランティアの大切さを伝える	ボランティア活動の推進について ボランティアの大切さを伝える	ボランティア活動の推進について ボランティアの大切さを伝える

エコリンピック2014 ③ エコ体験活動に参加しよう

環境体験活動から、全校の一人ひとりがさらに環境についての行動の仕方などを考えてもらおうと、昼休みに校内の多目的ホールでエコ体験活動を環境委員会を中心として行った。



【環境活動アクション】
 居るは学だった環境活動を行った。活動は、本のしりとりをする活動を行った。アクリル画もあつた。これにして、水があまりいらぬ「たこさんたわし」を作る活動を行った。

エコリニアクション活動でエコ活動しよう
 各家庭でもとも環境活動に賛同を促している。全校の一人ひとりが、学校で学んだことを家庭に持って帰って実践している。



【水・電気・ガス・暖房の節約】
 学校に一度、豊橋市にモーニングプログラムとしてペットボトルキャップ集めを行っている。また、学校で行っているノーチェ・ノーゲーム運動に合わせて、即席ライトダウンアクションを行っている。朝日の朝、健康朝時に早々に電気を消して就寝した人をチェックしている。



【親子参加アクション】
 夏休みに親子で校外を清掃する活動を行っている。昨年同様については準備をためて参加する活動も行っている。

エコリニアクション活動で環境活動を地域に広げよう
 学校や家で取り進んでいる環境活動を、地域に広げる活動を行っている。



【各家庭のアクション】
 秋の刈り取りの作業や収穫祭、地域のボランティア活動、各地の公民館等に協力を求めている。アルミ缶やスチール缶など細かく分別をしている。



【グラマンマッセアクション】
 地域の企業「グラマンマッセ株式会社」と協賛して環境活動を行っている。グラマンマッセ株式会社の協賛活動も実施した。グラマンマッセ株式会社で本校の環境活動を展示させてもらっており、互いに環境活動を行っている。

3 2 1

【日々の取組】
 全校児童で「水・電気の節約」及び「ゴミの分別」に取り組んでいる。環境委員会が積極的にメモチェックを行っている。さらに全校が独自の校舎の環境状況を出すように、朝日口のホワイトボードに記録している。ごみの削減化については、豊橋市役所にごみの計量を依頼し、重さを記録している。



【日々の取組】
 環境委員会では、日々の記録で気づいたことを、児童みや休み時間に集まって話すようにしている。その時に気づいたことを伝え合い、次にどうするかを考える。全校に呼びかけている。



【各年代からの取組】
 本年度のグラフでは、昨年年度に比べて、4月以外、毎月とも大きく減ってきている。このまま削減目標を達成していきたい。



【電気代の取組】
 電気の削減は、昨年年度に比べて、4、5月以外減少傾向にある。夏期も心がけて生活をしていくことが分かります。

【ごみの削減】
 過去3年度のごみの量は、全体的に減少傾向にある。引き続き、書き出しの呼びかけを行ってほしい。

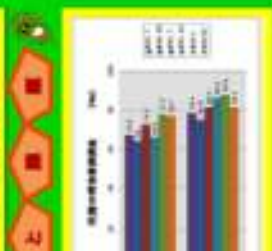
全校の環境活動をさらに向上させるため、様々な企画や呼びかけを行っている。

1 2 3

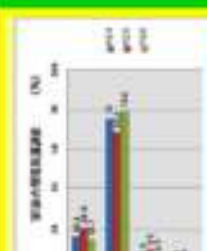
【水回りに学ぶ環境学習】の取組】
 「水回りに学ぶ環境学習」の取組では、5年生が「自分たちがいること」から考え、実際に水回りに行って考えを深め、これからはかまるといふ活動を行った。



【ESDに関する取組】
 ESD（持続可能な開発のための教育）では、地域でこのまま未来へ残したいものは何か、と問い、環境委員が「校区の清き水」を取り上げて活動を行っている。未来に持続して残していくために「ESD清き水」をテーマとし、清き水の利用のアイデアを募集したり、清き水周辺の清掃活動を行っている。



【校区の環境取組から】
 年々行っている環境学習では、電気・水の節約は別々の取組、同じことが分かる。ごみや缶と分別を分けていくことが分かります。



【家庭の環境取組から】
 昨年度に比べ、「ある」と答えた家庭が増えている。児童が学校での環境学習を持って帰って帰って帰っていることも増えてきている。歩みも環境を続けてほしい。

本校の3つの書き出し「水・電気の節約」について、水回り委員代表が、昨年年度に比べて大幅に減った。児童や職員が削減も少なく、「おんなだけ」を心がけていたのではないかと考える。「削減なく、削減なく、削減だけ」が、大切なのではないかと考える。